

有力地方豪族 下道氏の眠る地
下道氏墓



指定区分	国指定史跡
読みかた	しもつみちしはか
所在地	矢掛町東三成
指定年月日	大正12年3月7日
解説	丘陵斜面に造営された在地豪族、下道氏の墓地。周辺からも火葬墓が発見され、一帯が奈良時代の墳墓群と考えられ、当時の墓制を知ることができる貴重な遺跡。下道氏は小田川流域を根拠地とした古代の有力豪族の一つで、吉備真備を出した。
アクセス方法	井原鉄道三谷駅から約1km
公開状況	自由
設備	
備考	国道からの案内標識は「下道氏公園」と出ています。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	下道氏墓
よみかた	しもつみちしはか
しょざいち (所在地)	矢掛町東三成
していたひ (指定した日)	大正12年3月7日
せつめい	下道氏(しもつみちし)とは、奈良時代(ならじだい)の吉備(きび)の国で、とても大きな権力(けんりょく)をもっていた一族(いちぞく)です。下道氏のなかで、奈良時代のとてもすぐれた学者(がくしゃ)であり政治家(せいじか)でもあった吉備真備(きびのまきび)が有名です。吉備真備は、遣唐使(けんとうし)として、今の中国にわたり、たくさんの学問を学びました。